★心理のおしごとを知るためには、
次のような資料があります。

『カウンセラーになる ： 心理専門職の世界』尾久裕紀, 福島哲夫編著、日本経済評論社、2019、S/117、地下１階 就活

『新・臨床心理士になるために 令和元年版』日本臨床心理士資格認定協会監修、誠信書房、2019、S/118、地下１階 就活

『福祉職員こころの強化書 ： 穏やかな気持ちで人を支援する専門職になる』 久田則夫著、中央法規出版、2019、S/119、地下１階 就活

『事例から学ぶ心理職としての援助要請の視点 ： 「助けて」と言えない人へのカウンセリング 』木村真人、 飯田敏晴、 永井智、本田真大編、 金子書房、2019、 139/KI7、４階図書

KOBE COLLEGE
LIBRARY

心理職の
四大業務と五領域

2020.11 図書館新館　特集コーナー展示

心理のおしごと

★心理職の四大業務

心理職に求められる専門業務は４種あります。

①臨床心理査定

②臨床心理面接

③臨床心理的地域支援

④調査と研究

★心理職の五領域

医療・保健領域

病院では、主に心療内科や精神科で働きます。別部門の心理室や医療相談室などに勤務することもあります。保健所では「精神保健福祉相談員」といった肩書きの公務員として、電話相談や健康増進の啓発活動などを行っています。

■主な勤務先

・精神病院　・総合病院　・医院、クリニック

・保健所　・精神保健福祉センターなど

福祉領域

福祉関連施設では「指導員」や「心理判定員」という肩書きを持ち、公務員として働く人が多いです。おもに乳幼児や知的障害者、高齢者などを対象に、療育相談、子どもの虐待やドメスティックバイオレンス（DV）被害者の精神的ケアを行います。

■主な勤務先

・児童相談所　・療育施設　・福祉施設

・精神保健センターなど

教育・大学・研究機関

公立学校にもスクールカウンセラーが配置されるようになりました。いじめや不登校を始め学校生活で生じるさまざまな問題に対応し、児童・学生の心のケアをします。LGBTQ+の児童・生徒・学生への支援：教育現場をセーフ・ゾーンにするために。その場合、保護者や教職員への助言や援助などの心理コンサルティングも行います。

また、大学や研究機関では、臨床心理学の研究活動や講義を行ったり、新たな臨床心理士を育てることも大きな課題の一つです。

■主な勤務先

・公立学校、私立学校　・教育センター

・大学、大学院　・民間の研究機関など

労働・産業領域

働く人を対象に行われます。過度な労働や人間関係によるストレスなどから、悩みを抱える労働者が増えています。悩んでいる従業員の相談支援や職場復帰支援、授業員の上司や同僚へのコンサルティングを行います。

■主な勤務先

・企業内健康管理センター　・ハローワーク

・相談室、外部 EAP（従業員支援プログム）

・就労支援施設など

司法・矯正・警察領域

多くの場合は公務員として勤務します。たとえば家庭裁判所の調査員は、少年事件を起こした少年に対して、心理状態を調査しながら、心理学的援助も行います。警察の心理職員は、犯罪被害者の相談を受け、継続的な支援を行います。

■主な勤務先

・家庭裁判所＜調査官＞

・少年鑑別所、少年院、刑務所＜法務技官、法務教官＞　・保護観察所＜保護観察官＞

・警視庁、道府県警察本部＜心理職員＞など

★こんなサイトも活用してみては？

公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会

http://fjcbcp.or.jp/

一般社団法人日本臨床心理士会

https://www.jsccp.jp/